

月刊 動労千葉

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.5.17 No.3031

5-6月方針の柱 夏季物販に全組合員の総力を

全国へ・地域に・一人ひとりが・
三大課題の達成に全力を。

八九夏季物販が開始されました。全支部では、役員を先頭に全組合員が「全国オルグ」「地域オルグ」「組合員ひとり一万五千元目標」の三大課題達成にむけ、色々な困難にぶつかりながらも真剣な討論を通し、オルグ体制等がつくられてきています。白井事業部長を先頭に、全事業部の仲間たちは、全支部の苦闘を正面から受けとめ各支部に先がけ全国オルグに突入しているのです。

から二年、清算事業団問題を焦点とする闘いに直面している八九年は、期せずして動労千葉結成十周年です。

全国オルグを闘った組合員は、「この秋総評が解散し、連合が発足する情勢の中で、われわれの要請を断る労組にも遭遇したが、ほとんどが怒りや危機感を高めており、リクルート・消費税への怒りとダブツで、動労千葉への期待の凄さを肌で感じる事ができました。」と感想を述べています。「分割・民営化」強行から二年、清算事業団問題を焦点とする闘いに直面している八九年は、期せずして動労千葉結成十周年です。

血と汗と涙で築いてきた「俺たちの動労千葉」の底力を、ここで発揮せずして何の為に奮闘してきたのでしょうか！激動の九〇年代を前に闘う全国潮流を目指し、「全国労働組合交流センター」が力強く産声をあげました。いよいよ新たな闘いの開始です。こうした闘いの中心こそ物販運動です。「財政基盤の確立と運動の横への拡大」、この両面を持つ物販運動の前進に恐怖しているのは、いうまでもなくJR当局と鉄道労連革マルです。彼らに私達労働者の怒りの深さと、仲間意識の熱さをハッキリと示してやるうではありませんか。カギは、オルグ団がどれだけ奮闘し全国・地域を駆け巡るのかと、全組合員が物販の重大性をしっかりと自覚し、一人目標一万五千元を闘いとして貫徹するにかかっています。

組合員一人一人の熱意を総結集し、奮闘しようではありませんか。

全組合員に訴えます！
事業部長・白井 敏行

動労千葉が争議団として物販活動を開始しはや三年がすぎました。この間、全国の職場で、組合で苦闘する、多くの仲間に出会い、新しいたたかひを知り、ひとつひとつ実績をあげてきました。労働運動の戦国時代を迎えた今ほど動労千葉の登場と真価が問われる時はありません。物販活動も、今までの水準をはるかに上回る大前進を勝ちとる決意でありますので、全組合員の更なる御協力を訴えます。
1989年5月15日

動労千葉の'89年夏季販売にご協力を!!

解雇撤回！一人の首切りも許すな！
清算事業団の仲間、原地・原職奪還!!

夏季物販ポスターでぎこちる販売オルグにたちあがろう

組合員一人一人
一万五千元
円目標

「一人一万五千元」を売上目標とする闘いも、確かに消費税増行導入と低賃金の状況の中では、大変な闘いであるといえます。しかし、家族と相談し、友人・知人に働きかけ、大胆に熱意を以て提起するならば、決して不可能な目標ではありません。そのことは、過去の実績・実例がはっきりと証明しているところです。八九年夏季物販を全組合員の闘いとして、やりきろうではありませんか。

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!